

# 学力向上プラン【8月版】 大分市立森岡小学校 〔令和元年度〕

令和元年度 5年大分県学力学習状況調査より

正答率	森岡小	目標値	県平均	偏差値
国語	75.0	69.6	76.3	51.4
算数	70.5	66.1	70.3	52.4
理科	75.9	66.9	70.3	55.1

○平均正答率は算数、理科は県平均を上回っている。  
●国算理ともに『活用』はできているが、**国語**は『知識』で課題があり、説明文を読み取る部分が低い。

令和元年度 6年全国学力・学習状況調査より

正答率	森岡小	大分県	全国
国語	69.0	67.0	63.8
算数	67.0	67.0	66.6

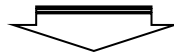
○国語は県を超え、算数は同等となっている。  
○国語は5年生のとき低かった『聞き取る』この項目が良くできていた。  
●算数は『図形』に課題が残った。

令和元年度 単元末評価テスト結果より

(数値はいずれも対目標値達成率)

6学年：国語:92% 算数:86.5% 理科:91% 社会:81%  
5学年：国語:95% 算数:95% 理科:97% 社会:70%  
4学年：国語:80% 算数:76% 理科:88% 社会:84%  
3学年：国語:61.5% 算数:75% 理科:77% 社会:56.5%  
2学年：国語:82% 算数:79%  
1学年：国語:77% 算数:77%

●達成指標 80%を下回る学年及び教科・50%以下の子どもに対し、重点をしばった取組・個別指導が必要である。  
●上位層と下位層に分かれており、前学年までの学習内容のふり返しを行う必要がある。  
●下位層の子どもは生活習慣・家庭学習が確立していない傾向がある。

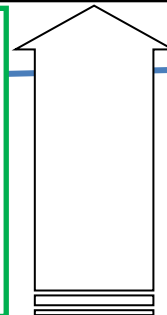


## 本年度達成指標

学力調査において全実施教科の結果が全国平均(県平均)を上回る  
本年度実施の単元末評価テストにおいて、目標値を達成する児童の割合を80%以上にする。

### 教職員の重点的取組み

- ① 授業改善
  - **めあて**→**課題**→**まとめ**→**ふり返し**の整合性のある授業
  - **課題設定**及び**学びあい**の工夫・改善
- ② 基礎・基本事項の定着
  - 国語(チャレンジ)タイム及び個別学習の充実
  - 家庭学習の習慣化



### 家庭・地域との継続的連携

- ① 基本的な生活習慣の確立  
(早寝早起き朝ごはん定着状況 90%以上)
- ② 家庭学習の習慣化・充実  
(家庭学習チェック週3回以上。)
- ③ 学校公開時の授業参観・見守り

### 具体的な取組み

【授業改善】 テーマ**課題設定・話し合い**を中心とする**学びあいの場**を工夫した学習指導のあり方

- **めあて**→**課題**→**まとめ**→**ふり返し**の整合性のある授業
  - 1時間完結型授業(課題とまとめ)の徹底、一人1回以上の互見授業の実践に取り組む。(「大分市授業づくりの5つのポイント」を意識した授業)
  - 「めあて」「課題」「まとめ」「ふり返し」のプレートを使用し、子どもにも見通しをもたせる。
- **課題設定**及び**学びあい**の工夫・改善(校内研)
  - 子どもの意欲や考えを引き出す課題設定の工夫を行う。
  - 互見授業・授業観察及び指導助言による授業力向上を図る。
  - 授業中に自分の意見を言う場を設定する。(「自分の考え・意見・感想などが言える」と答える子ども90%)(全体だけでなく、ペア・3人・グループ等の場の設定を工夫し、1時間の中で1回以上自分の考えを発言する機会を設ける。)

【基礎・基本事項の定着】

○基礎基本事項の定着

- 単元末評価テストの結果をもとに学習定着状況を把握する。特に対目標値 50%未満の子どもに対し、国語(チャレンジ)タイム・休み時間を利用して個別補充学習に取り組む。
- 家庭学習の状況を把握し、休み時間等に補助を行う。週3回以上の家庭学習の点検を保護者に呼びかける。

【その他】

- 学習規律アンケートを実施し、全校で統一した学習規律の徹底を図る。
- 教育活動全体につなげる道徳教育の充実を図る。



**学びの土台づくり**※「学校・家庭・地域の協働・連携 無くしては不可能な事柄である」という認識を共有する

- ① 基本的な生活習慣の確立と継続
- ② 学び合える共感的な学習集団の確立
- ③ よりよい食習慣の確立